

PRESS  
RELEASE



NATURE DESIGN

岡崎製材株式会社

〒444-0842 愛知県岡崎市戸崎元町 4-1

TEL.0564-51-0861 FAX.0564-52-8803



古民家再生 × インバウンド対応 | 複合施設 Vermillion-station. オープン

## 【老舗材木屋が挑む “究極の一点物”】 LOG-ing が京都にて全国初導入 | 世界に向けた発信拠点に

創業 1917 年 (大正 6 年)、100 年超の歴史を有する岡崎製材株式会社 (代表取締役: 八田欣也、以下「岡崎製材」) が、長年培った技術力から開発した新製品「LOG-ing( ロギング)」。2025 年 3 月「JAPAN SHOP 2025」での発表につづき、初の実店舗導入が決まった。導入先は、京都・東本願寺前に新たに誕生する複合施設「Vermillion-station.」(運営: 株式会社薬力亭 / 代表取締役: 木村茂生、以下「薬力亭」)。京都伏見稲荷で代々お茶屋を営む薬力亭が手がけるこの施設は、「飲食」「ショップ」「体験」を軸に、海外の旅行者と住人が集う空間として 2025 年 9 月 9 日にオープン。設計・デザインは株式会社 SCAB 山田雅之氏が担当し、店主夫妻の思い出の地・メルボルンの空気感を京都の和の空間に融合させ、活気と居心地の良さを備えた空間として築 100 年超の古民家をフルリノベーションし創出した。店舗の中央に堂々と鎮座するのが LOG-ing。一枚板を探しに岡崎製材を訪れた際、LOG-ing のスケール感と生命力に感銘を受けた店主がその存在感を忘れられず導入を決定。インバウンド客層に対して“日本の技術力”を示す象徴的存在となることを期待している。



2025 年 3 月の JAPAN SHOP にて発表

### 自然美と機能性を融合させた「究極の一点物」

創業より 100 年超、私たちは無垢材・木材の持つ多様な表情と可能性に向き合い続けてきた。均質なデザインが溢れる現代に於いて、木の特性を知り尽くし、脈々と受け継ぎ発展させてきた製材・加工技術を持つからこそ、木が本来持つ“個性”をもっとダイナミックに伝えられる方法はないか。自然美と機能性を高次元で融合させた LOG-ing は、多様性を表現しながら建築空間に唯一無二の存在感をもたらし、私たちのブランドコンセプト「NATURE DESIGN」の象徴的プロダクトになると信じデザインに至った。

### 自然が持つ「ゆらぎ」を空間の主役へ

LOG-ing という名称は「丸太 (log)」と「記録する (logging)」という二重の意味を持つ。丸太断面の力強い年輪を露わにしながらかしとしての機能を備え、うねるように浮き上がる木目をそのまま活かし、木が生きた証と生命力を空間へ取り込む。LOG-ing は、自然独特の不均質性を「美」と捉え、木材の節や歪み、時が刻んだ表情をデザインとして積極的に可視化し、建築空間に於いて、人と自然の新たな調和・共生の形を提案するプロダクトである。

## 一貫体制で仕上げた老舗材木屋の挑戦

丸太から削り出す大胆かつ繊細なプロセスを、デザイン設計から製材・加工・仕上げまで全て自社完結した。天板と丸太の断面（脚部）を一体で削り出すことで生まれる木目と年輪を、自然が刻んだ時間の流れと生命力の造形として表現。巨大な丸太を削り出すデザインはシンプルでありながら高度な職人技術の成せる業。表面の美しさのみならず裏面の製材痕の処理まで拘り、独自の特殊治具とR加工技術により継ぎ目のない美しく繊細な仕上がりに。また、削り出した部分も無駄にせず、サステナブルの観点から、丁寧に製材・乾燥・管理し、余さずテーブル天板として活用している。



## 複合施設 Vermillion-station.

「飲食」「ショップ」「体験」の複合施設として京都駅の目の前、東本願寺正面にオープン。station.の名前は、京都の玄関口に位置し、近隣には宿泊施設や観光スポット・主要駅があり、行きかう人々が目的地へむかう途中の停車駅として利用してもらいたいという願いと、伏見稲荷の飲食・物販店で掲げていた要素を全て集約した基地として機能させていきたいという意味を含んでいる。



### 代表メッセージ | 薬力亭 木村氏・SCAB 山田氏（連名）

岡崎製材本社の倉庫で様々な無垢板を拝見した際、展示会から戻ったばかりの「LOG-ing」に強く惹かれました。帰宅後もその印象が残り、自然と人々がテーブルを囲み歓談する光景が思い浮かび、店の中心にふさわしい存在だと確信しました。導入を相談した、デザイナー・SCAB 山田氏は初め、「空間全体を支配するほどの存在感」を懸念されましたが、設計変更を経て実際に設置すると、私達が想い描く「モダンな空間」と「和の空間」が見事に調和いたしました。レセプションでは、人々が自然と「LOG-ing」に集い、楽しそうに食事や会話をする姿で溢れており、「人がつながる場」としてのコンセプトが見事に実現できました。

京都・東本願寺の目の前、古民家を再生したこのカフェの中心に据えられた「LOG-ing」は、人々を自然と引き寄せ、旅のひとときを共有する場となります。ここは、旅の疲れをいやしつつ、新たな旅へと向かう“駅”としての役割も担っています。

#### ◆株式会社薬力亭（代表取締役 CEO 木村茂生）

稲荷山薬力亭は100年以上続く伏見稲荷大社境内にある茶店。信仰から観光へと訪れる人々の目的が遷移する中、現代版の茶店、として12年前に9代目店主になる木村茂生がはじめたのがVermillion（英語で朱の意）。その後、贈る土産ものの店として、朱 SHU. by Vermillionを開業。旅行者が安心して飲食し、旅の疲れを癒したり旅の情報交換ができる憩いの場としてのカフェ。旅の思い出を日本の素晴らしい手仕事やデザインという形で土産ものやギフトとして持ち帰れる、贈る土産ものの店を手がける。

#### ◆株式会社 SCAB（代表取締役 山田雅之）

2013年伏見稲荷大社境内に開業したVermillion - espresso bar & info.の設計を皮切りに、Vermillion - cafe.（2016年）、朱 SHU. by Vermillion（2019年）、2025年には新たにVermillion - station. と、薬力亭の店舗をこれまでに計4店舗を手掛けてきた。その他、宿泊施設や飲食店、コワーキングスペース、ホテルなど幅広く設計を展開。人が集い、憩い、旅の記憶を形にする場を生み出してきた。

Instagram



#### ◆岡崎製材株式会社（代表取締役 八田欣也、愛知県岡崎市戸崎元町4番地1）

創業1917年（大正6年）、100年超の歴史を有する愛知県岡崎市の老舗材木屋：岡崎製材株式会社。一流の目利きが世界中から仕入れた多種多様な無垢材は200樹種・5万点を超え、日本一の保有量を誇る。脈々と受け継ぐ木材知識・経験により歴代の目利きが世界中から揃えた銘木は、丁寧に製材・乾燥・加工され豊富なラインナップとして保管しており、お客様のご要望に合わせて「あなただけの一点」をご提案する。また、愛知県を中心に建築木材・資材等の流通事業、リノベーションや不動産、木製品の製造・販売など、建築や住まいに関わる多種多様な商品・サービスをワンストップで提供。地元密着の「最適住環境企業」を掲げる会社である。

この件に関するお問い合わせは岡崎製材株式会社の上田 萌子（うえだ もえこ）までお願いします。

TEL 0564-51-0861（本社事務所） / Mail m.ueda@okazaki-seizai.co.jp